



第28回

明治大学社会科学研究所シンポジウム

# 震災がれきとアスベストについて

受講料無料

2012年11月10日[土] 13:30~16:30

明治大学駿河台キャンパス リバティタワー (2F 1022教室)

第一部 講演 13:30~15:40

東日本大震災被災のアスベスト問題

外山 尚紀 [特定非営利活動法人(NPO)東京労働安全衛生センター]

石綿(アスベスト)のリスクと石綿関連疾患

名取 雄司 [中皮腫・じん肺・アスベストセンター代表]

東日本大震災における災害廃棄物のアスベスト調査(調査手法の課題を中心に)

豊口 敏之 [(株)環境管理センター 技術本部 部長]

震災がれきとアスベストをめぐる法律問題

小島 延夫 [東京駿河台法律事務所]

第二部 パネルディスカッション 15:50~16:30

【司会】小笠原 泰 (明治大学 国際日本学部教授)

# 震災がれきとアスベストについて

Profile

小笠原 泰

おがさわら やすし

明治大学 国際日本学部教授

1957年、鎌倉生まれ。東京大学文学部卒、シカゴ大学大学院国際政治経済学修士、同大学院経営学修士。マッキンゼー&カンパニーを経て、アグリメジャーである米国カーギル社ミネアポリス本社入社。ミネアポリス本社、カーギルB.V.(オランダ)、カーギルPLC(イギリス)勤務を経て、NTTデータ経営研究所へ。同社パートナーを経て、2009年4月より現職。研究領域は、組織文化マネジメント、社会システムデザイン、イノベーションマネジメント、知財文化マネジメント等。

主たる著書：

『2050 老人大国の現実』(共著)東洋経済新報社 2012年、『日本型イノベーションのすすめ』日本経済新聞社 2009年、『なんとなく、日本人』PHP新書 2006年、『日本的改革の探究』日本経済新聞社 2003年、『CNCネットワーク革命』(共著)東洋経済新報社 2002年など。



東日本大震災から一年以上が経ち、情緒的な支援と支えあいのフェーズを越えて、震災のもたらす後遺症を冷静かつ現実的に捉え、そこから教訓を学ぶべき時ではないでしょうか。希有の地震国である日本において、阪神・淡路大震災と今回の東日本大震災に続いて、東海・東南海・南海地震と東京から西日本の太平洋岸にわたる大地震発生の可能性も非常に高い状況ですので、なおさらであると言えます。

このような状況の中で、シンポジウムでは、阪神・淡路大震災で大きな問題となりながら、今回の東日本大震災では、大きく取り上げられることのないアスベスト問題をとりあげ、アスベストが

もたらす社会的問題を、公器である大学の場において、客観的かつ多面的な視点から真剣に検討したいと思います。政府主導で、アスベストが含まれる震災瓦礫が全国で処理される状況のなかで、アスベストの問題を、アスベスト問題の現場の視点、医療の視点、技術の視点、そして、国家の責任という視点から、多面的に議論することは、時宜をえた試みであると考えています。

